

令和7年度 大田区立南蒲小学校 自己評価 報告書

令和7年9月1日

○ 本校の概要

【学校規模】児童数:384名(9/1現在) 学級数:15学級 教員数:28名

【目指す学校像】

- 児童にとって、安心して自分を表現でき、目標をもってがんばる過程が認められ、自尊感情および自己肯定感が育まれる学校
- 保護者にとって、安心して暮らせることができ、子どもたちのために協力したいと思える学校
- 地域にとって、親しみと誇りを感じる存在で、学校の活動を応援・支援したいと思える学校
- 教職員にとって、改善に向けた取組の成果や学校組織の一員としての貢献を実感できる学校

【本校の特色】

- たてわり班による異学年交流活動(全学年)
- 外部講師を招いたキャリア教育(4～6年) 令和7年度キャリア教育モデル校(令和5年度より継続)
- 特別活動の要となる学級活動(指導者向け)
- 総合的な学習の時間を課題発見、探求できるよう(南探究タイム(南探究タイム))と命名
- 朝学習における持久走「なんぼーん」の取組(全学年) 令和6年度大田区小学生駅伝大会5年連続優勝(5.6年代表児童)
- 特別支援教室(4年・5年)1学級、特別支援学級(5年)1学級

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組今後の改善策	評価人数	学校関係者記入欄 コメント
生予測別 き測別 困り 力難 をな1 育未 成来 社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。 ○区民自衛隊「おたの未来づくり」(今年度より実施) →「おたの未来づくり」 6年・もりのつり 「おたの未来づくり エゴマの葉」 ○もりのつり ○小中連携授業向上研修 →3年以上の理科授業において、担任が授業公開をし、教員間で指導力を高めあう ○学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 ○フューチャラー →2年…新授業 3年…新授業(国・語・算数) 4年…ドローンマップ 5年…ドローンマップ(夢の教室) 6年…情報教室、キャリアカウンセリング、お仕事インタビュー もりのつり体験 ○情報教室(2.3.5.6年) →ようぶ移動教室 ○学校行事(主な行事) →27年度「アール」(児童が企画したお店) ○特別活動(主な活動) 5.1運動会 11/21.22学習発表会 →小学生駅伝大会、遠足等実施 ○自己肯定感の醸成 →児童が目標を認め合い、互いのよさを認めるための学級目標を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	4: 80%以上 3: 70%以上80%未満 2: 60%以上70%未満 1: 60%未満	児童アンケートで「タブレットを使って学習や家庭学習をすることができると感じた児童の割合」。	A B C D		
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をも尊重し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。 ○人権教育 →1.対人関係 2.対文化・対自然 ○学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 ○フューチャラー →2年…新授業 3年…新授業(国・語・算数) 4年…ドローンマップ 5年…ドローンマップ(夢の教室) 6年…情報教室、キャリアカウンセリング、お仕事インタビュー もりのつり体験 ○情報教室(2.3.5.6年) →ようぶ移動教室 ○学校行事(主な行事) →27年度「アール」(児童が企画したお店) ○特別活動(主な活動) 5.1運動会 11/21.22学習発表会 →小学生駅伝大会、遠足等実施 ○自己肯定感の醸成 →児童が目標を認め合い、互いのよさを認めるための学級目標を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	児童アンケートで、「国語を通して、日本や世界の文化や伝統について学び、違いや考えを大切にすることができると感じた児童の割合」。	A B C D			
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。 ○環境教育 →1.環境学習 2.環境活動 ○学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 ○フューチャラー →2年…新授業 3年…新授業(国・語・算数) 4年…ドローンマップ 5年…ドローンマップ(夢の教室) 6年…情報教室、キャリアカウンセリング、お仕事インタビュー もりのつり体験 ○情報教室(2.3.5.6年) →ようぶ移動教室 ○学校行事(主な行事) →27年度「アール」(児童が企画したお店) ○特別活動(主な活動) 5.1運動会 11/21.22学習発表会 →小学生駅伝大会、遠足等実施 ○自己肯定感の醸成 →児童が目標を認め合い、互いのよさを認めるための学級目標を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	児童アンケートで、「環境を通して、地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動することができると感じた児童の割合」。	A B C D			
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。 ○保幼小の連携 →1.保育所、幼稚園との交流授業 2.保育所、幼稚園の児童の引き継ぎ ○小中一貫教育 →1.学年間の連携 2.学年間の連携 3.学年間の連携 ○特別活動(主な活動) 5.1運動会 11/21.22学習発表会 →小学生駅伝大会、遠足等実施 ○自己肯定感の醸成 →児童が目標を認め合い、互いのよさを認めるための学級目標を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	児童アンケートで、「保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育が行われていると感じた児童の割合」。	A B C D			
お世 別 た を 目 標 担 な 2 が 人 材 国 際 育 成 市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めることとし、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しむながら英語を学ぶ機会を増やし、英語コミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。 ○外国語教育指導員(ALT)の配置 →1.2名配置(英語) 2名配置(英語) 3.4年生～年間35時間(専任ALT) 5.6年生～年間35時間(専任ALT) 英語カフェを各学年年間時間実施(昼休み)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	4: 70%以上 3: 60%以上70%未満 2: 60%以上70%未満 1: 50%未満	児童アンケートで、「国際社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成していると感じた児童の割合」。	A B C D		
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をも尊重し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。 ○人権教育 →1.対人関係 2.対文化・対自然 ○学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 ○フューチャラー →2年…新授業 3年…新授業(国・語・算数) 4年…ドローンマップ 5年…ドローンマップ(夢の教室) 6年…情報教室、キャリアカウンセリング、お仕事インタビュー もりのつり体験 ○情報教室(2.3.5.6年) →ようぶ移動教室 ○学校行事(主な行事) →27年度「アール」(児童が企画したお店) ○特別活動(主な活動) 5.1運動会 11/21.22学習発表会 →小学生駅伝大会、遠足等実施 ○自己肯定感の醸成 →児童が目標を認め合い、互いのよさを認めるための学級目標を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	児童アンケートで、「国語を通して、日本や世界の文化や伝統について学び、違いや考えを大切にすることができると感じた児童の割合」。	A B C D			
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。 ○環境教育 →1.環境学習 2.環境活動 ○学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 ○フューチャラー →2年…新授業 3年…新授業(国・語・算数) 4年…ドローンマップ 5年…ドローンマップ(夢の教室) 6年…情報教室、キャリアカウンセリング、お仕事インタビュー もりのつり体験 ○情報教室(2.3.5.6年) →ようぶ移動教室 ○学校行事(主な行事) →27年度「アール」(児童が企画したお店) ○特別活動(主な活動) 5.1運動会 11/21.22学習発表会 →小学生駅伝大会、遠足等実施 ○自己肯定感の醸成 →児童が目標を認め合い、互いのよさを認めるための学級目標を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	児童アンケートで、「環境を通して、地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動することができると感じた児童の割合」。	A B C D			
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。 ○保幼小の連携 →1.保育所、幼稚園との交流授業 2.保育所、幼稚園の児童の引き継ぎ ○小中一貫教育 →1.学年間の連携 2.学年間の連携 3.学年間の連携 ○特別活動(主な活動) 5.1運動会 11/21.22学習発表会 →小学生駅伝大会、遠足等実施 ○自己肯定感の醸成 →児童が目標を認め合い、互いのよさを認めるための学級目標を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	児童アンケートで、「保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育が行われていると感じた児童の割合」。	A B C D			
た一人 め別 の 目 標 基 礎 り3 が な る 性 力 を 能 力 成 を し 発 揮 す る	児童・生徒が豊かな人生を生き抜いていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを進め、積極的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。 ○道徳教育 →1.道徳教育 2.道徳教育 ○特別活動(主な活動) 5.1運動会 11/21.22学習発表会 →小学生駅伝大会、遠足等実施 ○自己肯定感の醸成 →児童が目標を認め合い、互いのよさを認めるための学級目標を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	4: 80%以上 3: 70%以上80%未満 2: 60%以上70%未満 1: 60%未満	児童アンケートで、「道徳科を中心とした各教科等での学習を進め、積極的に道徳教育を実施していると感じた児童の割合」。	A B C D		
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。 ○学習習熟度 →1.学習習熟度 2.学習習熟度 ○特別活動(主な活動) 5.1運動会 11/21.22学習発表会 →小学生駅伝大会、遠足等実施 ○自己肯定感の醸成 →児童が目標を認め合い、互いのよさを認めるための学級目標を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	児童アンケートで、「学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っていると感じた児童の割合」。	A B C D			
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。 ○健康教育 →1.健康教育 2.健康教育 ○特別活動(主な活動) 5.1運動会 11/21.22学習発表会 →小学生駅伝大会、遠足等実施 ○自己肯定感の醸成 →児童が目標を認め合い、互いのよさを認めるための学級目標を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	児童アンケートで、「健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っていると感じた児童の割合」。	A B C D			
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。 ○保幼小の連携 →1.保育所、幼稚園との交流授業 2.保育所、幼稚園の児童の引き継ぎ ○小中一貫教育 →1.学年間の連携 2.学年間の連携 3.学年間の連携 ○特別活動(主な活動) 5.1運動会 11/21.22学習発表会 →小学生駅伝大会、遠足等実施 ○自己肯定感の醸成 →児童が目標を認め合い、互いのよさを認めるための学級目標を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2 1	児童アンケートで、「保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育が行われていると感じた児童の割合」。	A B C D			

